

平成 27 年度

事業計画書

社会福祉法人 二宮町社会福祉協議会

社会福祉法人二宮町社会福祉協議会

平成27年度事業計画

【基本理念】

『ささえあう みんなのまち』

【基本方針】

高齢者人口の増加や核家族化などの社会環境の変化と、これに対応する介護保険法の改訂、生活困窮者自立支援法の制定等の法的な整備と見直しが進む中、社会福祉に求められる役割はますます大きくなっています。

地域においては、公的な支援制度（公助）から、住民一人ひとりを活かしながら互いにささえあう仕組み（自助・共助）への移行が求められ、様々な取り組みが求められています。

町社協では、3年目を迎える地域福祉活動計画の基本理念「ささえあう みんなのまち」の実現を目指し、地域のみなさんと協力しながら地域福祉の向上に取り組めます。

各事業においては、地域ニーズを常に把握しながら、それぞれの地域の課題に対応できるような体制の整備と見直しを行います。また、新しい事業として、小地域単位で多様な組織で構成される見守りやたすけあいの仕組みづくりの検討を進めていきます。

介護保険事業、障害者総合支援事業においては、利用者本位の運営に努め、将来に向けた新しい事業の検討に取り組めます。特に、町委託の地域包括支援センター事業においては、町と協力して地域包括支援システムの準備を行います。

【重点目標】

1. 高齢者福祉を充実します。
2. 福祉等ボランティア活動を充実します。
3. 町社協の組織を強化します。

I. 社会福祉事業

118,350

1. 法人運営事業

61,284

(1) 法人運営事業 民主的な社協運営のため事業の運営を行う		29,966
事業名	事業概要	予算(単位:千円)
① 役員会	イ 執行機関としての理事会を開催する (年5回。5月・9月・12月・3月上・3月中) □ 事業の能率的かつ活動的な推進と運営を図るため、理事部会を開催する ○ 財務部会 ・長期財政計画の検討 ・各事業の財務内容について確認する ○ 企画運営部会 ・地域福祉活動計画(平成28年度・29年度)の扱いについて検討する ・介護保険法改正に伴い関連事業について検討する ○ 広報部会 ・広報紙紙面改善について検討する ハ 社協業務及び会計経理の適正な執行のため、監査を実施する(年1回。5月)	1,616
② 評議員会	イ 諮問機関である評議員会を開催する (年4回。5月・9月・12月・3月)	358
③ 事務局運営事業	イ 社協が行う各種事業の管理運営およびそれに従事する職員の労務人事管理を行う □ 事務所の施設管理を行う ハ 長期財政計画の検討 ニ 地域福祉活動計画(平成28・29年度)の検討 ホ 職員研修計画の検討 ヘ 社協会員会費募集を行う ○ 地区社協部会をとおして町民への加入依頼 ○ 各種団体や企業に対して加入依頼 ト 赤い羽根共同募金・年末たすけあい募金活動を実施する チ その他事業として ○ 福祉団体への事務支援 ○ 行路人へ旅費支給 ○ 車椅子の貸出し リ 湘南ブロック社会福祉協議会連絡協議会事務局	25,808
④ 退職金積立事業	職員の退職金の積立をする	816
⑤ 福祉バス運行事業	地域福祉活動を支援するために福祉バスの運行をする	1,318
⑥ 災害見舞金事業	火災等の災害にあった家庭に対してお見舞金を送る	50

(2) 広報事業 広報紙「社協にのみや」の紙面レイアウトの改良を行う 素早い情報の発信のためにホームページの活用を行う		1,437
事業名	事業概要	予算(単位:千円)
① 広報紙発行事業	イ 広報紙「社協にのみや」を発行する (1・4・5・8ページはカラー) 年4回発行。5月・9月・1月・3月。 ロ 会員募集と会費納入のお願いチラシを発行する ハ 赤い羽根共同募金・年末たすけあい募金報告チラシを発行する	1,367
② ホームページ事業	イ ホームページによる情報の発信を行う ロ <u>メールニュースの検討を行う</u>	70

(3) 社会福祉大会事業 町の福祉の祭典として社会福祉関係団体やボランティアの協力のもと、 ラディアンにおいて11月28日(土)に開催する		476
事業名	事業概要	予算(単位:千円)
① 福祉のつどい事業	イ 社会福祉関係団体の活動発表やバザー・模擬店を実施する ロ 社会福祉に対する理解を高めるために福祉講演を実施する ハ 参加団体を委員とする実行委員会を開催する (年2回。6月・9月) ニ <u>新規参加団体募集の検討を行う</u>	321
② 顕彰表彰事業	イ 社会福祉関係功労者表彰を行う ロ 社会福祉関係功労者表彰選考委員会を開催する	155

(4) 助成事業 福祉団体並びに11地区社協部会への活動費の助成を行う		8,699
事業名	事業概要	予算(単位:千円)
① 更生保護女性会 助成事業	更生保護女性会へ活動費の助成を行う	20
② 社会を明るくする 運動助成事業	保護司会が行う社会を明るくする運動への助成を行う	20
③ 地域福祉推進援護 事業	地区社協部会が行う地域でのサロン事業の立ち上げ資金 として福祉推進事業補助金を交付する	450
④ 11地区社協部会 活動運営費	平成26年度会員会費の40%と地域ミニ・デイサービス 事業費合わせて地区社協部会活動運営費として交付する	4,370
⑤ 地域ミニ・デイ サービス助成事業	地区社協部会連絡会で実施している地域ミニ・デイサー ビス事業への助成を行う	3,839

(5) 心配ごと相談所事業 家族関係、DV、相続、人権問題など町民の方の心配ごとを解決に導くために相談を受ける		240
事業名	事業概要	予算(単位:千円)
① 心配ごと相談所事業	民生児童委員、人権擁護委員、学識経験者、行政相談員が相談を受け助言をする ○ 毎月第4木曜日開催	240
(6) ボランティアセンター事業 地域を支えるボランティアの育成のために各種事業の実施をする		1,766
事業名	事業概要	予算(単位:千円)
① ボランティア活動連絡調整	イ ボランティア活動の普及・啓発を行う ○ ボランティア大学を開催する ○ ボランティア講座(傾聴、災害ボラ)を開催する ○ ボランティアセンターニュースを発行する ○ ホームページでの情報発信を行う ○ ユース向け活動を推進する ロ 登録ボランティア団体等の支援を行う ○ 情報交換会を開催する ○ ボランティア保険の加入促進をする ハ 災害ボランティアの育成・組織化を推進する ○ 災害ボランティアコーディネーター養成講座(初級編・中級編)を開催する ニ 新規講座の検討 <u>○ 地域リーダー育成講座</u> <u>○ 精神障がいを理解するための講座</u> <u>○ ともしびショップ「なのはな」ボランティア</u>	564
② 手話通訳者等養成講習会事業	(町受託事業) イ 手話入門講座を開催し、聞こえない方との簡単な日常会話ができるようになることを目指す(全40回) ロ 手話通訳者現任講習会を開催し、手話通訳者の技能向上を図る ハ 要約筆記入門講座を開催し、聞こえない方、聞こえにくい方へ書いて伝える技術を習得する	998
③ ボランティアグループ助成事業	社協登録ボランティアグループへ活動費の助成を行う	204

(7) 地域福祉活動推進事業 地域住民が安心して生活できる地域づくりの一助となるべく活動を行う		1,192
事業名	事業概要	予算(単位:千円)
① 地区社協部会連絡会	イ 地区社協部会連絡会議を開催する ロ 地区社協部会連絡会研修会を開催する ハ 地区社協部会の役割についての検討を行う ニ 地区社協部会財政計画の検討を行う ホ サロン実施地区情報交換会を開催する ヘ サロン実施地区社協部会へ補助金を支給する ト 社協会員会費加入の戸別依頼を実施する チ 赤い羽根共同募金の戸別募金依頼を実施する	420
② 小地域モデル事業	小地域単位の見守り・生活支援モデルの構築の推進	450
③ 生活支援ネットワーク事業	イ 高齢者世帯等の日常生活でのちょっとした困りごとの解決のために地域と連携して支援を行う ロ ボランティア大学でコーディネーター・サポーターへの登録の呼びかけを行う ハ 運営委員会を開催する(年3回) ニ コーディネーター会議を開催する(年6回) ホ サポーター意見交換会を開催する(年2回) ヘ <u>チラシ・広報紙により事業内容のPRや利用者・サポーター・コーディネーターの募集を行う</u> ト <u>利用者・サポーターを対象にアンケートを実施し、ニーズ把握と支援内容の見直しをする</u> チ <u>地域資源の情報収集をする</u>	322
④ ともしび運動事業	(県社協補助事業) イ ともしび運動を普及するため中学生を対象にポスター・標語を募集する。 【事業終了】 ロ 障害者週間啓発のための街頭キャンペーン実施する 【事業終了】	0

(8) 共同募金配分金事業 年末たすけあい募金の配分について検討し実施する		1,215
事業名	事業概要	予算(単位:千円)
① 年末たすけあい募金配分金事業	イ 児童扶養手当受給世帯、要介護5判定、精神障がい者1級、身体障がい者1・2級、療育手帳Aで在宅の方へ申請方式にて年末たすけあい募金の配分を行う ロ 年末たすけあい配分委員会を開催する ハ 前年度の募金より地区社協部会、福祉団体に事業費として助成をする ニ 前年度の募金より社協事業費として配分を受ける	1,215

(9) 福祉サービス利用援助事業（県社協受託事業） 県社会福祉協議会からの受託事業として判断能力が十分でない高齢者、身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者に対し、福祉サービス利用援助、日常的金銭管理サービスを行う		2,306
事業名	事業概要	予算（単位：千円）
① 日常生活自立支援事業	イ 専門員による相談業務 □ 生活支援員による契約者への支援を実施する ハ 契約締結審査会を開催する ニ 事業理解のためのPR活動を行う	2,306
(10) 緊急通報システム事業（町補助事業） 高齢者世帯の安否確認および緊急時に消防・救急の出動を要請できる機器の設置を行う		5,000
事業名	事業概要	予算（単位：千円）
① 緊急通報システム事業	イ 設置申請、撤去依頼の受付をする □ 委託業者との連絡調整を行う ハ ホームページ等でのPRをする ニ ホームページから申請書等の様式をダウンロード出来るよう整備する ホ 同業他社のサービスについての情報収集をする	5,000
(11) ファミリーサポートセンター事業（町受託事業） 町からの受託事業として町の重要施策である子育て支援事業の一翼を担うべく適切にセンターを運営し、会員相互の幼児・児童の一時預りを実施する		3,158
事業名	事業概要	予算（単位：千円）
① ファミリーサポートセンター事業	イ 会員のコーディネートを行う □ まかせて会員養成講座を開催する（年2回実施） ハ フォローアップ研修会を開催する ニ 会員交流会を開催する ホ ファミサポ通信の発行をする ヘ ケース情報交換会を開催する ト 専用ソフトを使用して会員情報の管理をする チ 円滑なセンター運営のために地域リーダー制等の検討をする	3,158
(12) 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業） 県社会福祉協議会からの受託事業として低所得者、障がい者、高齢者または失業者に対し資金の貸し付けと必要な援助・指導を行う		806
事業名	事業概要	予算（単位：千円）
① 生活福祉資金貸付事業	イ 対象者からの相談を受ける □ 貸付事務を行う ハ 対象者に対し返済指導を行う	806

(13) 緊急援護資金貸付事業 町民の一時困窮に伴う出費に対し、10万円を貸付限度額とし資金の貸付による援護を行う		1,720
事業名	事業概要	予算(単位:千円)
① 緊急援護資金貸付事業	イ 対象者からの相談を受ける □ 貸付事務を行う ハ 対象者に対し返済指導を行う ニ 貸付調査委員会を開催する	1,720
(14) 基金積立事業 本会の安定した事業資金を確保するために基金の積立を行う 会費収入の減少が見込まれる中、財政調整基金の取崩しを行う		2,793
事業名	事業概要	予算(単位:千円)
① 社会福祉基金積立事業	基金から生ずる利息を地域福祉事業の財源に充てるとともに元本を取崩し開拓的事業、新規事業費に充てる	2,250
② 財政調整基金積立事業	備品の取得、事業運営、法人運営に関する経費に充てるため、余剰金を財源として積立を行う	543
(15) 善意銀行 篤志家による金品等の寄託を財源としてボランティアの育成支援をする		510
事業名	事業概要	予算(単位:千円)
① 善意銀行	イ 金品等の受託配分事務を行う □ 善意銀行運営委員会を開催する	510

2. ヘルパーステーション事業

31,786

(1) 居宅介護支援事業 高齢者が自らの意思にもとづき、自立した質の高い生活を送ることができるように支援する		11,142
事業名	事業概要	予算(単位:千円)
① 居宅介護支援事業	<ul style="list-style-type: none"> イ 要介護、要支援の認定を受けた高齢者に対して適正な介護サービスが提供されるようにケアマネジャー1人あたりの法定担当人数を遵守しつつ、ケアプランの作成を含めた居宅介護支援を行う □ 住宅改修の理由書を作成する ハ 市町村の委託を受け要介護認定調査を実施する ニ 新規事業の検討を行う 	11,142
(2) 訪問介護事業 自立した日常生活を営むことができるようにホームヘルパーを派遣する		20,644
事業名	事業概要	予算(単位:千円)
① 訪問介護事業	<ul style="list-style-type: none"> イ 要介護状態にある高齢者に対し、訪問介護を提供する □ 要支援状態にある高齢者に対し、予防訪問介護を提供する ハ 障がいの種類にかかわらず、支援の必要度合いに応じて訪問介護を提供する ニ 視覚障がいにより移動に著しい困難がある方に対して外出時においてガイドヘルパーが付き添い、代筆や代読、移動の援護、排出や食事の介護を行う ホ 母子家庭等の援助のためにホームヘルパーを派遣する(町受託事業) ハ 町民の方を対象として介護の知識を深めたいいただくために介護講座を開催する ト 研修を充実させ、ヘルパーの質を向上する チ 新規利用者を増やすために他事業所・ケアマネジャーと密に連絡を取り、信頼関係を築く リ ヘルパー増員のため、ホームページ等を活用する 	19,180
② 訪問介護自主事業	<ul style="list-style-type: none"> イ 要支援・要介護状態にある高齢者に対して、公的サービスで対応できない訪問介護サービスを提供 □ 料金を見直し、利用しやすくする 	1,464

3. 障害福祉サービス事業

25,280

(1) 就労継続支援事業 通所している障がい者の日々の生活の向上を目指すため就労を通じて教育指導を行う 昨年度から実施している土曜日の営業（月1～2回）と送迎サービスは継続し、新規事業についても引き続き調査検討を行う		25,280
事業名	事業概要	予算（単位：千円）
① 就労継続支援事業	イ 事業所の管理運営を行う ○ ボランティアの募集・育成 ○ 運営委員会の開催 ○ 土曜カナ（土曜日の営業）の実施 ○ 給食・昼食の手配 ○ 「カナだより」の配布（毎月） ○ 利用者及び職員の健康管理 ・ 健康診断の実施 ・ インフルエンザの集団予防接種の実施 ・ 協力医療機関との連携 □ 利用者への就労及びその他の支援 ○ 受託加工や自主製品の製造販売等を行い、工賃を得て、利用者に配分する ○ 就労支援・施設外支援の取り組み ○ 個別支援計画の作成・モニタリング ○ 送迎サービスの実施 ○ 社会参加を促進するため、日帰り研修旅行、一泊研修旅行及び料理教室を実施する ○ 余暇活動（レクリエーション）支援のため、忘年会、新年会、誕生会、特別イベントを実施する ハ 職員の資質向上のための研修の実施・支援を行う ニ 災害時の対応について検討する ホ 新規障害者支援事業の調査検討を行う	25,280

Ⅱ. 公益事業

44,311

1. ともしびショップ運営事業

7,827

(1) ともしびショップ運営事業		7,827
町民センター1階で障がい者の就労の場として喫茶店を運営する 町からの援助を受けつつ経営の独立化を図って行く		
事業名	事業概要	予算(単位:千円)
① ともしびショップ 運営事業	イ 障がい者スタッフの教育指導を実施する ロ 喫茶店の独立経営を図って行く ハ 吾妻山菜の花ウォッチング期間中に模擬店を実施する ニ 5周年記念イベントを実施する	7,827

2. 地域包括支援センター事業

36,484

(1) 地域包括支援センター事業(町受託事業)		36,484
町からの受託事業として適切にセンターの運営を行う		
事業名	事業概要	予算(単位:千円)
① 地域包括支援 センター事業	イ 町地域包括支援センターとして高齢者、家族または地域住民からの介護、福祉、健康に関わる相談を受ける ロ 新予防給付のケアマネジメントを実施する ハ 高齢者の権利(成年後見・権利擁護)、虐待に対する支援を行う ニ 多方面の社会資源と連携し高齢者の地域での生活全体の支援を行う ホ 地域のケアマネジャー、介護職へのスキルアップ研修を実施する ヘ 地域ケア会議を開催する ト 在宅医療機関と連携し問題解決を図る チ 町民の方を対象に運動認知症普及活動や出前講座を実施する リ 町を越えたネットワークによる取り組みを実施する ヌ 町と連携し介護予防(1次・2次予防)の啓発を行う	36,484

平成27年度二宮町社会福祉協議会計画事業一覧表

◎は新規事業 本年度予算額 (前年度対比)

I. 社会福祉事業 118,350千円 (△159千円)

1. 法人運営事業 61,284千円 (2,275千円)

- (1) 法人運営事業 29,966千円 (3,977千円)
 - ① 役員会 (1ページ・(1)ー①)
 - ア 理事会の開催 (年5回。5月・9月・12月・3月上・3月中)
 - イ 理事部会の開催
 - 財務部会
 - ・長期財政計画の検討
 - ・各事業の税務内容について確認する
 - 財務部会企画運営部会
 - ・地域福祉活動計画 (平成28・29年度) の扱いについて検討する
 - ・介護保険法改正に伴い関連事業について検討する
 - 広報部会
 - ・広報紙紙面改善について検討する
 - ウ 監事による業務監査、会計監査の実施
 - ② 評議員会 (1ページ・(1)ー②)
 - ア 諮問機関である評議員会の開催 (年4回。5月・9月・12月・3月)
 - ③ 事務局運営事業 (1ページ・(1)ー③)
 - ア 社協が行う各種事業の管理運営およびそれに従事する職員の労務人事管理
 - イ 経理事務
 - ウ 事務所の施設管理
 - エ 長期財政計画の検討
 - オ 地域福祉活動計画 (平成28・29年度) の検討
 - カ 職員研修計画の検討
 - キ 社協会員募集
 - ク 赤い羽根共同募金・年末たすけあい募金活動の実施
 - ケ その他事業
 - ・福祉団体への事務支援
 - ・行路人へ旅費支給
 - ・車椅子の貸出し
 - ◎ コ 湘南ブロック社会福祉協議会連絡協議会事務局
 - ④ 退職金積立事業 (1ページ・(1)ー④)
 - ア 職員の退職金の積立
 - ⑤ 福祉バス運行事業 (1ページ・(1)ー⑤)
 - ア 地域福祉活動支援のための福祉バス運行
 - ⑥ 災害見舞金事業 (2ページ・(1)ー⑥)
 - ア 火災等の災害にあった家庭に対して見舞金を送る
- (2) 広報事業 1,437千円 (増減なし)
 - ① 広報紙発行事業 (2ページ・(2)ー①)
 - ア 広報紙の発行 (1・4・5・8ページはカラー)
 - イ 会員募集と会費納入のお願いチラシの発行
 - ウ 共同募金・年末たすけあい募金報告チラシの発行
 - ② ホームページ事業 (2ページ・(2)ー②)
 - ア ホームページによる情報の発信
 - ◎ イ メールニュースの検討
- (3) 社会福祉大会事業 476千円 (増減なし)
 - ① 福祉のつどい事業 (2ページ・(3)ー①)
 - ア 社会福祉関係団体活動発表、ハザー・模擬店
 - イ 福祉講演会
 - ウ 実行委員会の開催
 - ◎ エ 新規参加団体募集の検討
 - ② 顕彰表彰事業 (2ページ・(3)ー②)
 - ア 社会福祉関係表彰
 - イ 社会福祉関係表彰選考委員会の開催
- (4) 助成事業 8,699千円 (3,401千円)
 - ① 更生保護女性会助成事業 (2ページ・(4)ー①)
 - ア 更生保護女性会へ活動費の助成
 - ② 社会を明るくする運動助成事業 (2ページ・(4)ー②)
 - ア 保護司会の社会を明るくする運動への助成
 - ③ 地域福祉推進支援事業 (2ページ・(4)ー③)
 - ア 地区社協部会サロン事業立ち上げ資金補助
 - ④ 11地区社協部会活動運営費 (2ページ・(4)ー④)
 - ア 平成26年度会員会費の40%と地域ミニ・デイサービス事業費の交付
 - ⑤ 地域ミニ・デイサービス助成事業 (2ページ・(4)ー⑤)
 - ア 地域ミニ・デイサービスへの助成
- (5) 心配ごと相談所事業 240千円 (増減なし)
 - ① 心配ごと相談所事業 (3ページ・(5)ー①)
 - ア 毎月第4木曜日に開催

(6) ボランティアセンター事業 1,766千円 (△1,079千円)

- ① ボランティア活動連絡調整 (3ページ・(6)ー①)
 - ア ボランティア活動の普及・啓発
 - ・ボランティア大学の開催
 - ・ボランティア講座の開催
 - ・ボランティアセンターニュースの発行
 - ・ホームページでの情報発信
 - ・ユース向け活動の推進
 - イ 登録ボランティア団体等の支援
 - ・情報交換会の開催
 - ・ボランティア保険の加入促進
 - ウ 災害ボランティアの育成・組織化の推進
 - ・災害ボランティアコーディネーター養成講座開催
- ◎ エ 新規講座の検討
 - ◎ ・地域リーダー育成講座
 - ◎ ・精神障がいを理解するための講座
 - ◎ ・ともしびショップ「なのはな」ボランティア
- ② 手話通訳者等養成講習会事業 (3ページ・(6)ー②)
 - ア 手話入門講座の開催
 - イ 手話通訳者現任者講習会の開催
 - ウ 要約筆記入門講座の開催
 - エ 講座の夜間開催 (19:00～)
- ③ ボランティアグループ助成事業 (3ページ・(6)ー③)
 - ア 社協登録ボランティアグループへ活動費の助成

(7) 地域福祉活動推進事業 1,192千円 (△3,439千円)

- ① 地区社協部会連絡会 (4ページ・(7)ー①)
 - ア 地区社協部会連絡会議の開催
 - イ 地区社協部会連絡会研修会の開催
 - ウ 地区社協部会の役割についての検討
 - エ 地区社協部会財政計画の検討
 - オ サロン実施地区情報交換会の開催
 - カ サロン実施社協部会への補助金の交付
 - キ 社協部会費徴収事業
 - ク 共同募金への協力
- ② 小地域モデル事業 (4ページ・(7)ー②)
 - ア 小地域単位の見守り・生活支援モデルの構築の推進
- ③ 生活支援ネットワーク事業 (4ページ・(7)ー③)
 - ア 高齢者世帯等の日常生活での困りごと解決支援
 - イ ボランティア大学での登録呼びかけ
 - ウ 運営委員会の開催
 - エ コーディネーター会議の開催
 - オ サポーター意見交換会の開催
 - カ チラシ・広報紙でのPR
 - キ アンケートによるニーズ把握
 - ク 地域資源の情報収集
- ④ ともしび運動事業 (4ページ・(7)ー④)
 - ア ともしび運動ポスター・標語の募集【事業終了】
 - イ 障害者週間啓発キャンペーンの実施【事業終了】

(8) 共同募金配分金事業 1,215千円 (3千円)

- ① 年末たすけあい募金配分金事業 (4ページ・(8)ー①)
 - ア 対象世帯へ年末たすけあい募金の配分を行う
 - イ 年末たすけあい配分委員会開催
 - ウ 前年度の募金より地区社協部会、福祉団体に事業費として助成をする
 - エ 前年度の募金より社協事業費として配分を受ける

(9) 福祉サービス利用援助事業 2,306千円 (36千円)

- ① 日常生活自立支援事業 (5ページ・(9)ー①)
 - ア 専門員による相談業務
 - イ 生活支援員による契約者への支援の実施
 - ウ 契約締結審査会の開催
 - エ 事業理解のためのPR活動

(10) 緊急通報システム事業 5,000千円 (500千円)

- ① 緊急通報システム事業
 - ア 設置申請、撤去依頼の受付
 - イ 委託業者との連絡調整
- ◎ ウ ホームページ等でのPR
- ◎ エ 様式をホームページにアップロード
- ◎ オ 同業他社のサービスについての情報収集

(11) ファミリーサポートセンター事業 3,158千円 (△102千円)

- ① ファミリーサポートセンター事業 (5ページ・(11)ー①)
 - ア 会員のコーディネート
 - イ まかせて会員養成講座の開催
 - ウ フォローアップ研修会の開催
 - エ 会員交流会の開催
 - オ ファミサボ通信の発行
 - カ ケース情報交換会の開催
 - キ 専用ソフトを使用して会員情報を管理
- ◎ ク 地域リーダー制等の検討

(12) 生活福祉資金貸付事業 806千円 (△32千円)

- ① 生活福祉資金貸付事業 (5ページ・(12)ー①)
 - ア 対象者からの相談受付
 - イ 貸付事務
 - ウ 返済指導

(13) 緊急援護資金貸付事業 1,720千円 (増減なし)

- ① 緊急援護資金貸付事業 (6ページ・(13)ー①)
 - ア 対象者からの相談受付
 - イ 貸付事務
 - ウ 返済指導
 - エ 貸付調査委員会の開催

(14) 基金積立事業 2,793千円 (増減なし)

- ① 社会福祉基金積立事業 (6ページ・(14)ー①)
 - ア 基金積立の果実の活用及び基金を取崩し新規事業資金に活用
- ② 財政調整基金積立事業 (6ページ・(14)ー②)
 - ア 法人運営等の経費に充てるための余剰金積立

(15) 善意銀行 510千円 (△990千円)

- ア 金品等の受託配分
- イ 善意銀行運営委員会開催

2. ヘルパーステーション事業 31,786千円 (△2,614千円)

(1) 居宅介護支援事業 11,142千円 (684千円)

- ① 居宅介護支援事業 (7ページ・(1)ー①)
 - ア ケアプラン作成を含めた居宅介護支援を行う
 - イ 住宅改修の理由書作成
 - ウ 要介護認定調査
- ◎ エ 新規事業の検討

(2) 居宅介護等事業 20,644千円 (△3,298千円)

- ① 訪問介護事業 (7ページ・(2)ー①)
 - ア 訪問介護の提供
 - イ 介護予防訪問介護の提供
 - ウ 障害者総合支援訪問介護の提供
 - エ 障害者総合支援同行援護
 - オ 母子家庭等ヘルパー派遣
 - カ 介護講座の開催
- ◎ キ ヘルパーのスキル向上のための研修充実
- ◎ ク 新規利用者の獲得
- ◎ ケ ヘルパー増員のためにホームページを活用
- ② 訪問介護自主事業 (7ページ・(2)ー②)
 - ア 公的サービスで対応できない訪問介護の提供
- ◎ イ 利用料金の見直し

3. 障害福祉サービス事業 25,280千円 (180千円)

(1) 就労継続支援事業

25,280千円 (180千円)

- ① 就労継続支援事業 (8ページ・(1)ー①)
 - ア 事業所の管理運営
 - ・ボランティアの募集・育成
 - ・運営委員会の開催
 - ・土曜カンナ (土曜日の営業) の実施
 - ・給食・昼食の手配
 - ・利用者及び職員の健康管理
 - ◎ インフルエンザの集団予防接種の実施
 - 協力医療機関との連携
- イ 利用者への就労及びその他の支援
 - ・事業所からの下請け作業
 - ・就労支援・施設外支援の取り組み
 - ・個別支援計画の作成・モニタリング
 - ・送迎サービスの実施
 - ・社会参加促進のための研修旅行、料理教室の開催
 - ・レクリエーション支援のイベント開催
- ウ 職員の資質向上のための研修
- エ 災害時対応の検討
- オ 新規障害者支援事業の調査検討

II. 公益事業 44,311千円 (3,366千円)

1. ともしびショップ運営事業 7,827千円 (増減なし)

- (1) ともしびショップ運営事業 7,827千円 (増減なし)
 - ① ともしびショップ運営事業 (9ページ・(1)ー①)
 - ア 障がい者スタッフの教育指導
 - イ 喫茶店経営の独立化
 - ウ 吾妻山菜の花ウォッチングへの参加
 - エ 5周年記念イベント実施

2. 地域包括支援センター事業 36,484千円 (3,366千円)

- (1) 地域包括支援センター事業 36,484千円 (3,366千円)
 - ア 町地域包括支援センターとして高齢者、家族または地域住民からの介護、福祉、健康に関わる相談を受ける
 - イ 新予防給付のケアマネジメント
 - ウ 高齢者の権利、虐待に関する支援
 - エ 多方面の社会資源と連携し高齢者の地域での生活全体の支援を行う
 - オ 地域のケアマネジャー、介護職へのスキルアップ研修の実施
 - カ 地域ケア会議の開催
 - キ 在宅医療機関との連携
 - ク 運動認知症普及活動や出前講座の実施
 - ケ 町域を越えたネットワークによる取り組みの実施
 - コ 行政と連携し介護予防の啓発を行う